

団体名： 小牧商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の大宗をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化のほか、創業・経営革新への積極的な支援を実施するための巡回及び窓口において相談・指導を行う。巡回相談指導では、小規模事業者と接点を持ち信頼関係を築くことや事業計画策定の意義を伝えることを重点に掲げ、各種施策の周知や経営実態と課題等について伴走型支援に努める。	・巡回窓口指導実企業数 658社 ・巡回窓口指導延件数 1,704件 ・課題解決提案件数 60件 ・経営革新承認件数 3件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 118.3%)	1,440	1,704	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	60	60	本市商工業者の基盤をなす小規模事業者の経営安定化に努め、巡回窓口において相談指導を行い、経営改善支援の役割を果たすことができた。また、課題解決提案によって指導の成果を明確にすることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	経営発達支援計画に基づき伴走型支援に取り組む。その他、「事業継続力強化」、「小規模事業者のDX」を重点的に取り組む。	○
講習会等	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の振興・安定に寄与することを目的に、経営知識の普及を図る。	講習会開催回数及び受講予定者数 ・個別 69回 288人	小規模事業者	指標 開催回数 (達成度 87.3%)	79	69	指標 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症の影響からの復活、電気をはじめとする物価高の影響、インボイスの対応など様々な問題を抱えている。資金面での支援としての融資、インボイス・確定申告相談により事業所の課題解決に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 B	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 変更する	目標② 実施方法②	インボイス・電子保存制度、定額減税等の煩雑な事務処理をスムーズに取組めるための支援事業として実施する。	
記帳継続指導	管内の小規模事業者（個人）を対象に、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告することを目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できるようになることで、経営力強化や事業計画策定など経営発達支援にも結び付ける。	・指導対象者数 32件 ・指導延日数 314日 ・指導延回数 390回	管内の個人の小規模事業者	指標 受託件数 (達成度 114.3%)	28	32	指標 (達成度 %)			小規模事業者が記帳の知識を身に着けることにより、経営体質の強化と安定を図ることができた。また、事業所に合わせた資料作成により、クラウド会計の定着や、インボイスを始めとした税制改正の情報提供、電子申告等の促進ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	記帳指導・財務分析に加え、事業計画策定支援等を指導員と連携して支援する。また、新規委託先獲得のため、前項の個別講習会との差別化及び、他事業との連携の強化を図る。	
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、若手後継者等の育成・支援を通じて経営資質の向上を図る。青年部については自らの経営力向上および自己研鑽を目的に研修会への参加や勉強会の開催、日本商工会議所青年部主催の全国大会の総会及び講演会等へ参加を通じて地域内の商工業の振興を図る。女性会についても同様に、自己研鑽・自己啓発の一環としてセミナーを開催、また全国大会に参加するなどして知見を広め経営力を高める。	・青年部 部員数 80人 役員会・総会等 32回 ・女性会 会員数 41人 役員会・総会等 19回	小規模事業者を中心とする青年部員・女性会員	指標 青年部部員数 (達成度 109.6%)	73	80	指標 女性会会員数 (達成度 95.3%)	43	41	役員会等を通じて組織運営の手法を学び、経営知識向上の一助とした。事業運営や会議の開催方法など常にあらゆる状況を想定し準備・運営することに対応力を向上することができた。また全国大会に参加し研鑽や交流を深めることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	継続して組織強化や円滑な事業運営に取組む。手法は、役員等を中心に協議・決定し推進する。	
地域振興祭事業	小牧市民の各世代のエネルギーを結集したまつりが開催されるに当たり、産業界として協力の下、小牧市民まつりが行なわれる。そのため実行委員会に参加するとともに催事に参画し、商工業者の団結とまちの活性化に寄与する。	・小牧市民まつり 来場者数 200,000人 準備1日、当日2日、後片づけ1日 計4回	中小・小規模事業者	指標 小牧市民まつり来場者数 (達成度 111.1%)	180,000	200,000	指標 (達成度 %)			来場者も戻りコロナ以前のように盛況に開催され地域の活性化につながる事業実施においては、事業者と市民の交流を生み、経営回復の機会となるとともに、今後の地域経済の回復が期待できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	小牧のブランド向上として、地域資源である小牧山のロケーション、歴史的背景など好材料をもとに引き続き行政や関係団体と連携し小牧市民はじめ市外からの交流人口増を図る。	
街づくり事業	商店街組織の衰退が進み、中心市街地活性化の主体となることが厳しい状況に陥っている。こうしたなか、商店街・市民団体・市・商工会議所を中心とした協働組織体「小牧にぎわい隊」の自主自立に向けた運営等の支援を行う。	総会 1回 正副会長会議 1回 役員会議 12回 イベント 6回 計 20回	中心市街地商店街（小規模事業者）	指標 会議等開催回数 (達成度 62.5%)	32	20	指標 (達成度 %)			小牧にぎわい隊の在り方について検討し、具体的な推進事業を自主的に協議、小牧街なかMAPを制作することになった。正副会長会議は12回予定していたものを会議の効率化を目指し役員会のみ開催。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 調査結果 C	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	目標値から大きく減った結果となったのは会議運営の効率化が図れたため。支援団体の自立化に向けては効果が出始めている。	
地域振興事業	小牧市の地域を7地区に分け商工会議所の事業の一翼を担い、会員事業所への情報提供（小規模事業者を中心に）を行うなどし、地域商工業の振興に資する。	ブロック会 会議3回 事業2回 外山 会議2回 事業1回 味岡 会議2回 事業1回 篠岡 計7回 計4回	中小・小規模事業者	指標 会議開催回数 (達成度 58.3%)	12	7	指標 事業開催回数 (達成度 66.7%)	6	4	新型コロナウイルスの5類感染症移行により各ブロック会の交流会を実施、地区内の会員事業者相互の交流と施策普及を図ることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 C 調査結果 C	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 変更する	各ブロック会において施策普及に努めるとともに、BCP策定支援を重点的に実施する。	

団体名： 小牧商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
経営相談・指導事業	中小・小規模事業者の求める専門的ニーズはより高まっており、企業の発展は、専門的なアドバイスや側面的な支援が必要になっているため、専門家を活用してそのニーズに応える。	相談室運営に関する事項 定例開催（税務・会計） 随時開催（法律・特許・社会保険労務士） 相談室参加者数 55人 （開催数 計30回）	中小・小規模事業者	指標 相談室開催数 （達成度 58.8 %）	指標 （達成度 %）	指標 相談室開催数 （達成度 58.8 %）	指標 （達成度 %）	得られた効果 小規模事業者が経営上のさまざまな問題に直面した場合に、無料で専門的なアドバイスを受ける機会を提供することにより経営の課題解決に応えた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 変更する	目標② 実施方法②	日商が推進する知財経営支援と連携して更に効果的に事業者の経営課題に応える体制を整える。		
商談会事業	営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓は重要だが難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引先の機会拡大を図る。	・2023年度（令和5年度）地域商談会（尾張会場） 16件 ・アライアンス・パートナー発掘市2023 19件	中小・小規模の製造業及び県内商工会議所会員事業所のうち中小・小規模の全業種	指標 地域商談会（尾張会場）に参加の受注企業数 （達成度 200.0 %）	指標 アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 （達成度 126.7 %）	指標 地域商談会（尾張会場）に参加の受注企業数 （達成度 200.0 %）	指標 アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 （達成度 126.7 %）	得られた効果 目標以上に多い参加となり、コロナ禍の影響を受けた企業にとって、取引先を探す良い機会となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	各指導員等支援先へ声掛けをし、コロナ禍からの回復を図る事業者にさらに勧めていきたい。		
青年部・女性会事業	青年部 次代の地域経済を担う経営者、後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と部員相互及び卒業生であるOB会との交流を通じ、企業の発展と豊かな地域経済社会を築く。女性会 多様化する商工会議所事業の一翼を担い、女性の特性を活かして商工会議所事業を推進し、もって商工業の総合的な発展を図る。	青年部員による事業の運営、上部団体（県連等）、青年部OB会の活動に参加 21回 女性会会員による事業の運営、上部団体（県連等）の活動に参加 14回	小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員	指標 青年部事業数（会報発行を含む） （達成度 105.0 %）	指標 女性会事業数（会報発行を含む） （達成度 93.3 %）	指標 青年部事業数（会報発行を含む） （達成度 105.0 %）	指標 女性会事業数（会報発行を含む） （達成度 93.3 %）	得られた効果 部員による事業の企画・実施や、上部団体等の活動に参加することにより、組織運営を学び、また他業種との交流等を深めることができた。部員数が増加した本団体の部員間同士の連携強化に繋がった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	役員等を中心に協議・決定し推進する。資質向上に資するよう効果的な事業運営の支援に努める。		
部会・委員会事業	部会や委員会活動支援を行い、情報提供や企画事業の実施並びに中小企業施策への積極的対応（説明会・相談会等）をすることで、個別企業の発展に資し、企業の連帯感の醸成をすることを目的とする。また、地域の振興と消費喚起を図る。	・理財金融業・一般製造業・窯業ゴム化学工業・機械金属工業 各部会 ・産業振興・こまきブランド向上 各委員会 ・名古屋コーチンプロジェクト事業 計13回	中小・小規模事業者	指標 事業開催回数 （達成度 130.0 %）	指標 （達成度 %）	指標 事業開催回数 （達成度 130.0 %）	指標 （達成度 %）	得られた効果 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、少しずつではあるが事業実施を通して参加事業所の交流を図ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	小規模事業者にとって有益となる事業展開を継続して行い、個別企業の発展ならびに企業の連帯感の醸成をすることを旨とする。		
労働保険事業	労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続等各種の事務処理は中小企業の負担となることが少なくない。労働保険事務組合を設置することにより中小企業事業主の負担を軽減するとともに各種制度を推進する。	・労働保険事務組合小牧商工会議所運営に関する事項 委託事業場数 511件 取得・喪失給付事務 700件 労働保険事務組合連合会等 会議・研修会 4回 ・小牧商工会議所建設一人親方組合運営に関する事項 委託事業者数 63人	中小・小規模事業者	指標 労働保険事務組合委託事業場数 （達成度 102.2 %）	指標 一人親方組合委託事業者数 （達成度 112.5 %）	指標 労働保険事務組合委託事業場数 （達成度 102.2 %）	指標 一人親方組合委託事業者数 （達成度 112.5 %）	得られた効果 デジタル化を推進し、業務効率化を図ることで、委託事業場先への支援時間の確保に努め、事業場満足度向上を推進した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	所内デジタル化推進を図り、業務効率化及び委託事業場の満足度向上を推進し、委託事業場件数を拡大を推進する。		
税務関係団体指導事業	小牧税務署や他団体と連携し、税に関する情報交換や、傘下中小・小規模事業者への税務知識普及と推進を行う。	・小牧法人会小牧4支部、小牧税務連絡協議会企画運営委員会等共催にて会議の開催及び運営指導を行う。 会議・事業等開催回数 18回	中小・小規模事業者	指標 会議・事業開催回数 （達成度 100.0 %）	指標 （達成度 %）	指標 会議・事業開催回数 （達成度 100.0 %）	指標 （達成度 %）	得られた効果 管内中小・小規模事業者の税務知識、適正納税の普及を関係団体と連携して推進を図った。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	事業承継税制や消費税（インボイス制度）・所得税、電子保存法などの税制改正への対応に対して、引き続き関係団体と連携して支援事業の充実を図る。		
産業団体等指導事業	小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。	・小牧喫茶店組合、愛知県商店街振興組合連合会小牧支部、小牧市発展会連絡協議会、小牧市北里発展会、小牧市東部商店街振興組合運営指導を行う。 会議・事業等開催回数 20回	小規模事業者を中心とする地域商工業者・団体	指標 会議・事業開催回数 （達成度 83.3 %）	指標 （達成度 %）	指標 会議・事業開催回数 （達成度 83.3 %）	指標 （達成度 %）	得られた効果 団体への事業支援による地域振興を図った。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	各団体の事業を通じ、組織維持を目指し、また、事業支援による地域振興を図る。		
情報収集提供事業	当所が発行する「会報」「相談所便り」「メールマガジン」により小規模施策、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度の利用を勧奨する。また商工振興モニター制度による小規模事業者の経営情報等の収集と取りまとめを行う。	・会報 12回 ・相談所便り 3回 ・メールマガジン 37回 ・商工振興モニター 100件	中小・小規模事業者	指標 メールマガジン発行回数 （達成度 168.2 %）	指標 （達成度 %）	指標 メールマガジン発行回数 （達成度 168.2 %）	指標 （達成度 %）	得られた効果 中小・小規模事業者向け施策や各種事業等の情報提供を行い、施策を活用したいと考える事業者が増えた。定例配信の他、最新情報を随時号外として配信することで、メールマガジンを見た事業者からの問い合わせやメールマガジン登録者数が増加した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	小規模事業者にとって有益となる情報発信を継続して行う。各種施策をメールマガジン号外として柔軟に対応し周知を図る。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。